

情報公開内容

課題名：日常診療下でのガドキセト酸ナトリウム肝造影 MRI ～肝細胞造影相における肝エンハンスメントと肝機能に関わる臨床検査項目との相関性ならびに肝細胞造影相撮像タイムポイントに関する検討～

本研究の目的

ガドキセト酸ナトリウム（以下 EOB）は肝臓用の MRI 造影剤であり、ガドキセト酸ナトリウムを使用した肝臓 MRI 検査（以下 EOB 造影 MRI）は肝臓の疾患などを調べるために既に当院で実施されている検査であり、有用性の高い検査です。一方 EOB 造影 MRI による造影効果は肝機能と関係があるという報告や肝機能の良い患者さんでは検査の時間を短くできる可能性があるという研究報告がなされておりますが、症例数が比較的少ないことや患者背景の偏りがあるという問題点があり、正確なことはわかっていません。

現在近畿大学を中心とする全国約 50 病院において「日常診療下でのガドキセト酸ナトリウム肝造影 MRI ～肝細胞造影相における肝エンハンスメントと肝機能に関わる臨床検査項目との相関性ならびに肝細胞造影相撮像タイムポイントに関する検討～」という調査研究が実施されています。この研究の目的は肝臓の映り方（造影効果）と肝機能の関係を調べることで、および EOB 造影 MRI 検査実施に適した時間を検討することです。当院はこの近畿大学の調査研究に協力しています。

本研究組織

主施設・研究統括医師：

近畿大学医学部 放射線医学教室 放射線診断学部門 教授 村上卓道

協力機関：金沢大学 ほか 約 50 病院

本院研究責任者

広島大学大学院医歯薬保健学研究院 放射線診断学 教授 栗井 和夫

本研究の対象

本研究承認日～平成 25 年 6 月 30 日の間に、広島大学病院において肝臓の疾患などを調べるために EOB 造影 MRI 検査を受けられる患者さん。

本研究の意義

本研究により、患者さんの肝機能検査項目に基づいて EOB 造影 MRI 検査での肝臓の造影効果を事前に推定することができるようになると考えられます。また肝機能が良好な患者さんが EOB 造影 MRI 検査を受ける場合には、検査時間を短縮させることで患者さんの負担を軽減させることができると考えられます。

本研究での評価項目

本研究では、EOB 造影 MRI の撮影方法、画像およびカルテの情報をを用い、造影効果と肝機能の関係性を評価します。カルテを調べて調査することが主な調査方法です。調査項目は、患者の性別、年齢、身長、体重、採血結果、既往歴、臨床診断、画像診断、手術所見、病理診断です。

本研究への参加と個人情報保護

この研究へ情報を提供したくない場合は下記までご連絡下さい。

本研究への情報提供を拒否されてもなんら不利益は生じません。

この研究に参加することで特別な謝礼金などの資金援助はありません。

学会論文発表は完全に匿名化してなされます（名前、ID、イニシャル、生年月日等の個人を特定できる情報は記載されません）。

症例の個人情報は匿名化されますので、個人情報が漏洩することはありません。

問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

担当者所属：広島大学病院 放射線診断科

職名：医科診療医

氏名：中村優子

連絡先電話番号：082-257-5257